

第40期

中間事業報告書

平成15年4月1日から平成15年9月30日まで



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社



東京「新宿店」前にて



ワタベマインド 経営基本理念

わたくしたちの目的は、
真心の奉仕と知恵ある提案を通じて、
すてきな生活文化を創造し、
心豊かな社会の実現に
貢献することにある。

トータル・ブライダル・ソリューションの確立で、
世界最高のブライダル企業を目指します。

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清祥の
こととお喜び申し上げます。

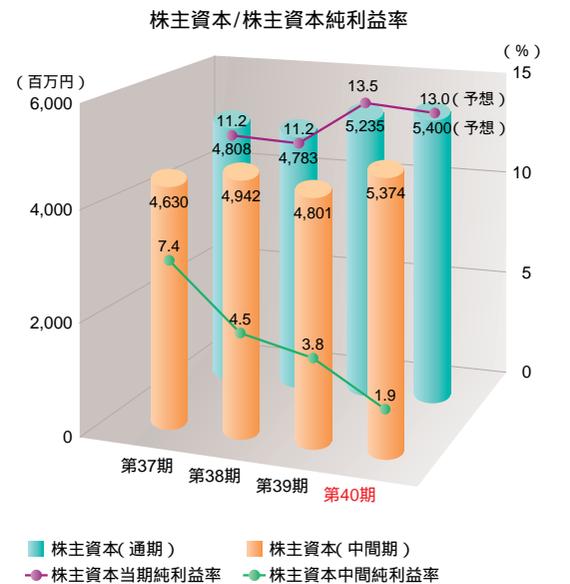
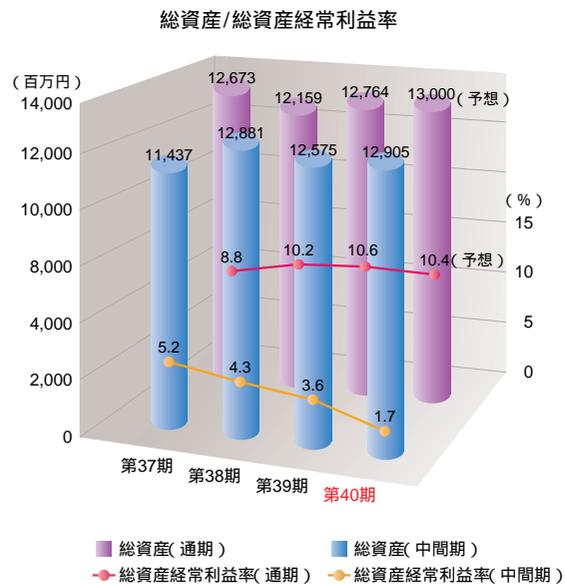
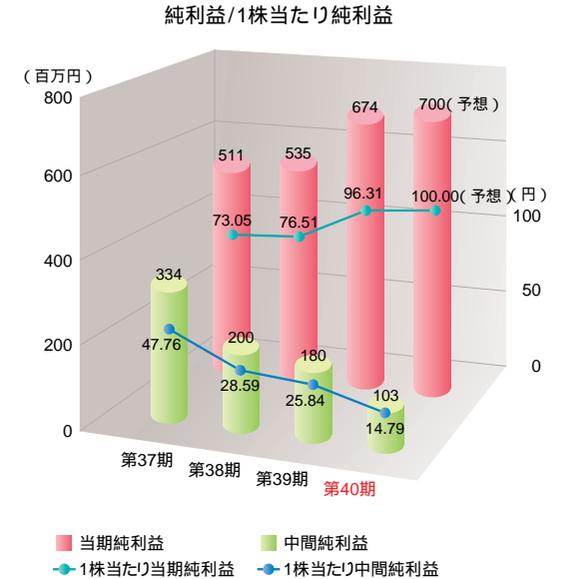
平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。
さて、当社グループでは、「すてきな生活文化の創造」
へのプロセスとして、時代とともに移りかわるお客様の
ニーズに適切に対応するトータル・ブライダル・ソ
リューションという新しい業態の確立に、全社をあげ
て取り組んでおります。

結婚という人生最高の幸せな時に、お客様一人ひと
りが心からの感動を味わっていただけるよう、「モノ」
中心のブライダル業態から「心」を大切にする業態へ脱
皮し、お客様に価値ある情報をタイムリーにご提案し
てまいります。

当社グループは、「お客様のニーズや課題を解決して
さしあげることこそがサービスの原点である」という考
え方をもとに、ソリューションビジネスを展開すること
で、企業の発展と社会への貢献に努めてまいります。
今後とも、なお一層のご支援ご協力を賜りますよう、
心からお願い申し上げます。

平成 15 年 12 月

代表取締役社長 **渡部 隆夫**



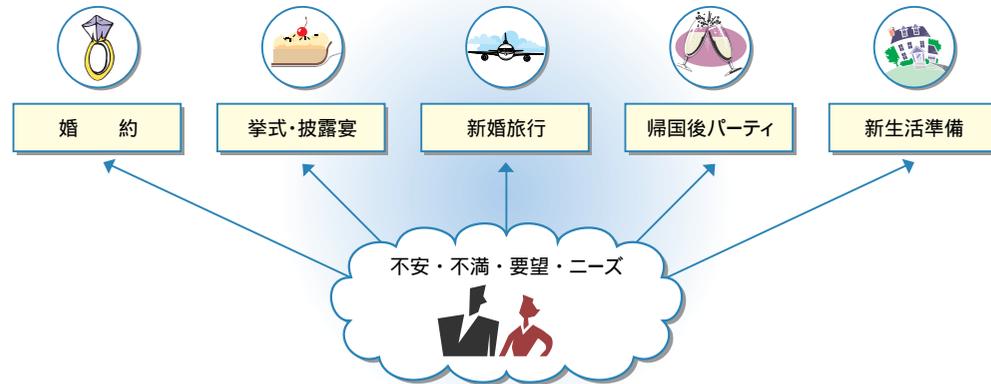
「すてきな生活文化の創造」へのプロセス

時代とともに移り変わる挙式スタイル

昨今のブライダル業界は、2000年、2001年と過去2年続いたメモリアルウェディング人気で挙式が集中した反動と、都市部を中心とした晩婚化の影響により、2002年の婚姻組数は75万7千組(厚生労働省人口動態調査)と前年比5%の減少となりました。そのような中お客様の自分達らしい結婚式を要望される動きは年々加速しており、そのこだわりもお客様の数だけ多様化しています。

サービスは「モノ」から「心」へ

このような社会環境や価値観の多様化に適切に対応するために、当社グループは、「モノ」中心のブライダル業態から「心」を大切にする業態へと脱皮し、すべてのサービスを融合させ、お客様に価値ある情報をご提案してまいります。当社の目指す「トータル・ブライダル・ソリューション」とは、結婚という人生最高の幸せの時に「ステキさ」という付加価値をつけて人生最高の感動をお客様一人ひとりに味わっていただくために、業界の常識の殻を破り、お客様がお持ちのすべての課題に対して的確に解決してさしあげる真心のサービスのご提案です。



一般的なブライダル業界の仕組み

一般的には、婚約に係わること、挙式・披露宴に係わること等個別に存在する各業者窓口にお客様自身が足を運び、一つの結婚式に組み立てる必要があります。各業者が個々にサポートする単品情報とお客様が「自分達らしさ」を具現化するために求められる情報にはギャップがあるため、お客様自身が組み立てる難しさや問題が不安を生みます。その時間や労力、費用にも頭を悩ませ、希望どおりの結婚式を実現するためには大変な努力が必要です。

当社のご提案する新しい仕組み



総合力という新しい業態の確立



安心と信頼

50年の経験と実績からくるブライダルのプロとしての誇りと責任感がお客様をトータルにサポートします。



ライフステージにおける「ステキさ」の提案

プレ、ミドル、アフターブライダルとお客様の一生の記念日を当社はトータルに「ステキさ」という付加価値をつけてプロデュースします。



負担軽減と夢の実現

製販一体、挙式施設の充実、国内外の店舗ネットワークとその連携によるタイムリーな情報提供等、お客様の立場を最優先に考えた総合的なサービス体制を強化し、お客様のご希望をもとにプロのコーディネーターが、夢の実現をお手伝いします。



「企業ブランド価値2003」掲載

週刊東洋経済の「企業ブランド価値2003」にて、当社がランキング281位として掲載されました。このランキングは、上場会社を対象に平成15年3月期決算をもとにした最新ランキングです。ブランド価値の試算に利用されている評価モデルは、経済産業省企業法制研究会が2002年に公表した価値評価研究会報告書の評価モデルが利用されています。公表財務データのみからブランド価値を算出しているため、主観的要素を排除した統一基準をとり、透明性や一覧性が高いところが特徴です。

上海「写真アルバム製造工場」開業

当社グループは今年創業50周年と同時に、中国・上海への進出10周年を迎え、平成15年4月、ドレス製造に次ぐ第2の工場拠点として「写真アルバム製造工場」を展開し、写真・映像事業をスタートしました。この事業は、当社グループの「門出の日を記念に残す」という事業領域の根幹を拡大する事業として位置付けており、ドレス同様、製販一体体制をとることで、より一層の拡販が望めます。また製造ラインの稼働率を高め原価低減を図るため、OEM生産をも視野に入れた展開を予定しています。9月からは、デジタル加工アルバムの製

作を本格的に開始し、海外・国内で取扱う写真アルバムのすべての内製化を進めています。



新デザインが好評の「アヴィカ」、時流に沿った商品開発も

オリジナルウェディングドレス「アヴィカ」

ウェディングドレスは「レンタルから購入へ」という生活文化の提案に努めています。ウェディングドレス「アヴィカ」とメンズフォーマル「アヴィカ・オモ」は、高級素材を使用し、豊富なデザインからサイズオーダーが可能です。国際品質基準「ISO9001」取得の自社直営工場で生産し、当中間期にはウェディングドレス33タイプ、カラードレス12タイプ、タキシード3タイプの新作を発表しました。



花の教会「伊豆高原教会」オープン

当社グループの国内挙式施設に、平成15年4月、「伊豆高原教会」（静岡県伊東市）が加わりました。都心から近いリゾートとして愛されてきた伊豆高原。その美しい自然のなか、衣裳室を併設した新たな「花の教会」として生まれ変わりました。中部・東海エリアで初めての挙式施設開設となり、特に関東圏からのリゾートウェディング需要を見込んでいます。



虎ドレスとアヴィカキャンペーン

平成15年9月、18年ぶりの優勝に沸く阪神タイガースやダイエーホークスにあやかった「タイガードレス」「ホークスドレス」など、オリジナルカラードレスを企画・製作しました。当社各店でレンタルを開始したほか、大阪グランドプラザ、神戸グランドプラザ等フォトスタジオ併設店舗では、写真撮影プラン「花嫁物語」での着用も開始。マスコミの注目度も高く大きな反響を得ています。今後も、人気ドレスの分析や時代の流れに沿う話題性を通じて、お客様のニーズに対応した商品開発に努めます。



アヴィカリゾート魅力拡大

「アヴィカ・ウェディング&リゾート（オーストラリア）」の多彩なフラワーガーデンが、2003年ゴールドコースト市主催のガーデンコンテストで、2年連続1位を受賞しました。ランドスケープの美しさはもちろんリサイクル・ウォーターの利用や節水の工夫により、環境保護に努めている点が特に評価されました。また、スパ・エステ商品「クイーンズ・スパ」もお客様の満足度が高い商品として予約状況も軌道に乗るなか、一般旅行者（推定年間約20万人）の顧客開発をする上で更なる魅力となります。



施設の充実による国内挙式サービスの強化

関東では11月に、邸宅スタイルの代表格として人気の高い「アーケイディア」が「アフィーテ目黒」としてリニューアルオープンするほか、都心からわずか1時間という海見えるリゾート挙式施設「アフィーテ葉山」（神奈川県葉山町）をオープンします。関西では、大阪城を望むビジネス街の屋上庭園を活かした都市型リゾート挙式施設「ワナファンガーデン」（大阪市中央区）を12月に開設するなど、様々な異なる魅力を持つ挙式施設が続々登場します。国内挙式施設は、40期中に合計9施設となります。挙式施設の充実に伴い、多様化する挙式ニーズに合わせた新しいスタイルを提案します。



手数料



海外挙式者と列席者を対象に、国内店舗にて旅行の手配(旅行業務)。また、商品斡旋や他社施設への送客を実施。

海外挙式サービス

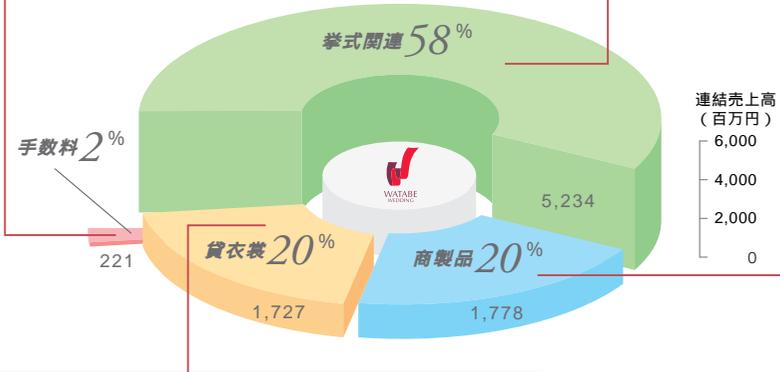


主として日本人の海外挙式者を対象に、国内店舗を窓口として、海外12ヶ所の自社運営挙式施設を中心に、海外16店舗でサービスを提供。

国内挙式サービス



ハウスメディンから純和風挙式まで、多様化するお客様のニーズに対応した国内6ヶ所の自社運営挙式施設を中心に、サービスを提供。



衣装レンタル



カラードレスや和装衣裳を中心に、豊富なデザインと低価格でレンタル提供。海外挙式者には現地での着用衣裳を国内店舗にて試着、予約できるサービスを提供。

写真サービス



貸衣装、美容着付と写真撮影をセットにしたサービスを提供。婚礼写真や成人式、七五三などの記念に。

商製品



「ISO9001」認証取得した上海の自社工場、高品質・低価格のウェディングドレスを製造、関連商品とともに国内店舗にて販売。「レンタルから購入へ」という生活文化の提案。

当中間期のわが国経済は、実質経済成長率が二期連続でプラスになり、株式市場も一万円台を回復するなど、景気低迷状態からようやく抜け出す兆しを見せております。

当ブライダル業界においては、海外挙式マーケットでイラク戦争及び重症急性呼吸器症候群（SARS）の影響により海外挙式の申込みが一時期控えられる状況となりました。国内マーケットにおいては、自分たちだけで施設及び時間を占有できる「貸切型」の挙式スタイルが都市部のお客様に人気となり、また、北海道や沖縄を代表とする国内リゾート地における「リゾートウェディング」という挙式スタイルを定着させる傾向を強めております。

このような経営環境のなか、当社グループはお客様満足度の向上を最大の目標として、トータル・ブライダル・ソリューションの確立に向けて様々な戦略を展開してまいりました。

挙式スタイルの新提案としては、平成15年4月「伊豆高原教会」を開設し、リゾートウェディングの提供を開始いたしました。店舗戦略としては、首都圏地区における海外挙式の送客拠点として、平成15年4月「上野店」「新宿サロン」「ヨコハマスカイ店」の中型店舗を同時開設し、大阪地区においては平成15年7月「大阪IMP店」、平成15年8月「枚方店」を開設いたしました。提供サービスの質的向上及びコスト低減戦略としては、平成15年4月、中国・上海市に写真アルバム製造工場を開設し、主として海外挙式のお客様向け婚礼アルバムの自社製造を開始いたしました。また海外においては、高品質・高付加価値サービスの販売に注力し、一組当たり単価の向上に努めました。

以上の戦略により、当中間期の業績は、売上高8,961百万円（前年同期比3.4%減）、経常利益223百万円（同50.9%減）、中間純利益103百万円（同42.8%減）となりました。

なお、所在地別セグメント別の業績は次のとおりであります。

- ①日本.....国内挙式取扱組数増加等より、売上高は7,439百万円（前年同期比6.1%増）となりましたが、新規挙式施設の開設準備費用等の発生により、営業利益は193百万円（同12.9%減）となりました。
- ②ハワイ.....SARS等の影響により挙式取扱組数が減少し、売上高は2,127百万円（前年同期比12.4%減）となりましたが、自社運営教会挙式比率を高め、営業利益は52百万円（同58.5%増）となりました。
- ③中国.....日本向けのウェディングドレス出荷数増加により、売上高619百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益39百万円（同1,560.4%増）となりました。
- ④オセアニア.....一組当たり単価が上昇したことで売上高は580百万円（前年同期比9.2%増）となりましたが、人件費等が増加したことで、営業損失は22百万円（前年同期 営業損失8百万円）となりました。
- ⑤ミクロネシア...SARS等の影響により挙式取扱組数が減少し、売上高1,039百万円（前年同期比20.4%減）、営業利益134百万円（同44.5%減）となりました。
- ⑥その他の地域...ヨーロッパは堅調でしたが、北米の挙式取扱組数減少により売上高460百万円（前年同期比17.7%減）、営業損失16百万円（前年同期 営業利益30百万円）となりました。

今後、当ブライダル業界において、婚姻届出組数は年間75万組前後になると推測され、海外挙式は年間4万2千組程度と予測しております。当社グループは引き続きお客様満足度の向上とお客様の感動を高めるため、国内マーケットの積極的な開拓や海外における挙式パッケージの品質向上と写真アルバム等のオプション商品の充実を図ってまいります。

財務諸表の概要(連結)

中間連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	4,168	4,374	4,454
現金及び預金	2,396	2,398	2,675
売掛金	713	847	763
たな卸資産	519	586	494
前払費用	256	269	245
未収入金	112	106	67
繰延税金資産	144	93	151
その他	36	94	70
貸倒引当金	10	22	13
固定資産	8,736	8,200	8,309
有形固定資産	5,584	5,007	5,233
貸衣裳	111	82	92
1 建物及び構築物	2,925	2,824	2,849
1 器具備品	858	886	852
1 土地	1,231	1,076	1,231
その他	457	137	207
無形固定資産	149	164	158
投資その他の資産	3,001	3,028	2,918
投資有価証券	372	182	167
長期前払費用	394	480	446
差入保証金	1,567	1,508	1,572
繰延税金資産	175	222	253
再評価に係る繰延税金資産	364	373	364
その他	385	443	381
貸倒引当金	258	181	267
資産合計	12,905	12,575	12,764

科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(負債の部)			
流動負債	5,339	6,293	5,437
買掛金	944	1,133	1,078
短期借入金	650	923	284
1年以内返済予定長期借入金	929	1,274	1,231
未払金	368	366	401
前受金	1,762	2,004	1,667
賞与引当金	123	140	163
その他	560	450	611
固定負債	2,191	1,480	2,091
2 長期借入金	1,636	989	1,535
退職給付引当金	34	20	27
役員退職慰労引当金	300	284	292
その他	220	186	236
負債合計	7,530	7,774	7,528
(資本の部)			
資本金	1,754	1,754	1,754
資本剰余金	1,618	1,618	1,618
利益剰余金	2,422	1,965	2,388
土地再評価差額金	524	515	524
3 その他有価証券評価差額金	128	0	0
為替換算調整勘定	24	21	2
資本合計	5,374	4,801	5,235
負債及び資本合計	12,905	12,575	12,764

point 1

営業店舗、拳式施設及び工場の新設、改装等で前中間期比227百万円増加しました。アフィーテ目黒196百万円、東京グランドプラザ改装22百万円、上海アルバム工場新設53百万円が当中間期の主な増加です。

point 2

売上増加を図るための投資に備え長期借入金が増加しました。前中間期比646百万円増加しました。

point 3

保有するその他有価証券の時価評価により前中間期比127百万円増加しました。

中間連結損益計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日まで)	前中間期 (平成14年9月30日まで)	前期 (平成15年3月31日まで)
4 売上高	8,961	9,273	19,539
売上原価	3,629	4,057	8,580
売上総利益	5,332	5,215	10,959
5 販売費及び一般管理費	4,934	4,691	9,490
営業利益	397	524	1,468
営業外収益	48	49	73
6 営業外費用	222	118	224
経常利益	223	455	1,317
特別利益	34	19	59
特別損失	-	170	275
税金等調整前中間(当期)純利益	258	303	1,100
法人税、住民税及び事業税	159	158	552
法人税等調整額	4	35	125
中間(当期)純利益	103	180	674

point 4

イラク戦争やSARSの影響により海外拳式が減少し、売上高が減少しました。国内での拳式施設の開設を進め、売上高増加を図ります。

point 5

営業店舗、拳式施設の新設に伴いグループ人員数が増加し、人件費が増加しました。又、テロ後抑制していた広告宣伝費が増加しました。

point 6

中間期末直前の急激な円高による為替差損181百万円を計上しております。

中間連結剰余金計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日まで)	前中間期 (平成14年9月30日まで)	前期 (平成15年3月31日まで)
(資本剰余金の部)			
資本剰余金期首残高	1,618	1,618	1,618
資本剰余金中間期末(期末)残高	1,618	1,618	1,618
(利益剰余金の部)			
利益剰余金期首残高	2,388	1,867	1,867
利益剰余金増加高	103	180	674
利益剰余金減少高	70	83	153
利益剰余金中間期末(期末)残高	2,422	1,965	2,388

中間連結キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日まで)	前中間期 (平成14年9月30日まで)	前期 (平成15年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	309	1,264	2,386
投資活動によるキャッシュ・フロー	664	523	1,165
財務活動によるキャッシュ・フロー	100	123	340
現金及び現金同等物に係る換算差額	24	0	13
現金及び現金同等物の増減額	278	617	894
現金及び現金同等物の期首残高	2,675	1,781	1,781
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	2,396	2,398	2,675

財務諸表の概要(単体)

中間貸借対照表(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成15年9月30日現在)	前中間期 (平成14年9月30日現在)	前期 (平成15年3月31日現在)
(資産の部)			
流動資産	3,752	4,074	3,720
現金及び預金	1,748	1,781	1,743
売掛金	612	703	602
たな卸資産	158	182	168
その他	1,241	1,422	1,216
貸倒引当金	8	15	11
固定資産	8,612	8,011	8,173
有形固定資産	4,705	4,210	4,413
貸衣裳	80	68	69
建物	2,619	2,496	2,520
器具備品	496	564	511
土地	1,197	1,043	1,197
1 その他	312	38	115
無形固定資産	108	123	117
投資その他の資産	3,797	3,677	3,642
投資有価証券	997	881	792
差入保証金	1,284	1,212	1,276
その他	2,224	1,861	2,130
貸倒引当金	708	278	556
資産合計	12,364	12,085	11,893

中間損益計算書(単位:百万円)

科目	当中間期 (平成15年4月1日から 平成15年9月30日まで)	前中間期 (平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで)	前期 (平成14年4月1日から 平成15年3月31日まで)
売上高	7,186	7,486	15,695
売上原価	3,595	3,989	8,311
売上総利益	3,591	3,496	7,384
販売費及び一般管理費	3,272	3,127	6,502
営業利益	318	368	882
営業外収益	266	262	289
営業外費用	203	107	184
経常利益	382	523	987
2 特別利益	34	19	59
特別損失	161	168	463
税引前中間(当期)純利益	256	375	582
法人税、住民税及び事業税	82	58	339
法人税等調整額	34	23	233
中間(当期)純利益	207	340	476
前期繰越利益	407	220	220
利益準備金取崩額		196	196
中間配当額			70
中間(当期)未処分利益	614	756	822

point 1

下期開業予定の拳式施設への投資により増加しました。
アフィーテ葉山157百万円、ワナファンガーデン40百万円が当中間期の主な増加です。

point 2

保有していた非上場株式が上場し、その一部を売却しました。

国内・海外ネットワーク

(平成15年9月30日現在)

：ワタベウェディング ：グループ子会社 ：拳式施設

北海道地区

札幌店

東北地区

宮城県

仙台店

関東地区

東京都

東京グランドプラザ

銀座サロン

新宿店

ルミネ新宿店

新宿サロン

品川店

虎ノ門店

麹町店

竹芝店

目白店

目黒店

上野店

立川店

町田店

「ピアンキ スポーツ」青山店

「クアント」銀座校

神奈川県

横浜グランドプラザ

横浜ポートサイド店

ヨコハマスカイ店

千葉県

千葉店

千葉ららぽーと店

千葉みなと店

ユーカリが丘店

埼玉県

さいたま新都心店

大宮店

東海地区

愛知県

名古屋グランドプラザ

名古屋栄店

静岡県

伊豆高原教会

関西地区

京都府

京都グランドプラザ

三条店

東山店

四条河原町店

ワタベファミリークラブ京都店

下鴨葵邸

大阪府

大阪グランドプラザ

梅田店

中之島店

守口店

大阪IMP店

ワタベファミリークラブ枚方店

セント・アヴェンヌ教会

兵庫県

神戸グランドプラザ

三ノ宮店

みなと異人館

神戸北野サッスーン邸

マーチュア・ガーデン神戸

奈良県

奈良店

滋賀県

滋賀グランドプラザ

大津店

今津店

なぎさ店

八幡店

草津店

中国地区

広島県

広島店

広島北口店

九州地区

福岡県

福岡店

長崎県

佐世保店

鹿児島県

鹿児島店

ハワイ

ホノルル店

マウイ店

コナ店

コオリナ・チャペル・ブレイス・オブ・ジョイ

アクアペール フレマリナ・コオリナル・ブライジュ

ジョン・ドミニス・チャペル・バイ・ザ・シー

アロハ・ケ・アクア・チャペル

ホ・アオ

北米

ロサンゼルス店

ラスベガス店

バンクーバー店

ヨーロッパ

パリ店

ロンドン店

フィレンツェ店

マイクロネシア

グアム店

サイパン店

セント・プロバス・ホーリー・チャペル

サンビトレス・ベイサイド・チャペル

セント・グレイス・バイ・ザ・シー

セント・アンジェロ・チャペル

オセアニア

ゴールドコースト店

シドニー店

ケアンズ店

ハミルトン店

クライストチャーチ店

アヴィカ・ウェディング&リゾート

メルストニアン・チャペル

サンクチュアリー・コープ・チャペル

中国

上海店

株式情報

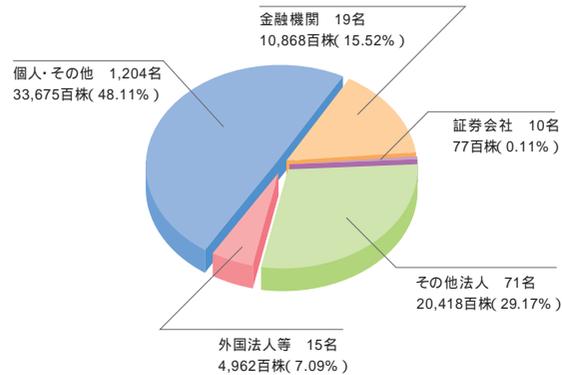
(平成15年9月30日現在)

株主の状況

1.会社が発行する株式の総数	22,000,000株
2.発行済株式の総数	7,000,000株
3.株主数	1,319名
4.大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	議決権比率(%)
株式会社寿泉	1,635,400	23.36
渡部隆夫	451,600	6.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	391,100	5.58
ワタベウェディング従業員持株会	373,000	5.32
渡部泰男	283,000	4.04
渡部義夫	273,300	3.90
有限会社シュー	200,000	2.85
UFJ信託銀行株式会社(信託勘定A口)	120,700	1.72
ゴールドマンサックスインターナショナル	111,800	1.59
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー-505011	100,000	1.42

所有者別分布状況



会社概要

(平成15年9月30日現在)

ワタベウェディング株式会社

本店所在地
京都市下京区烏丸通仏光寺上る
二帖半敷町671番地

設立
昭和39年10月3日

資本金
17億5,450万円

従業員数
333名 契約社員は含まれておりません

ハワイ支社
オーストラリア支社

国内関係会社
アヴィカプロデュース株式会社
ワタベファミリークラブ株式会社
イルフィーロ株式会社
クアント株式会社

海外関係会社
WATABE U.S.A., INC.
WATABE AUSTRALIA PTY. LTD.
WATABE SAIPAN, INC.
WATABE GUAM, INC.
WATABE EUROPE S.A.R.L.
WATABE U.K. LTD.
WATABE WEDDING CANADA, INC.
華德培婚紗(上海)有限公司
上海華德培唯婷婚禮服務有限公司
上海先衆貿易有限公司

株主優待のお知らせ

当社では、株主さまへの感謝の一環といたしまして、
当社の商品・サービスをご利用いただけるご優待制度を設けております。

株主ご優待

対象株主様：毎年3月31日現在の株主名簿に記載された
100株以上ご所有の株主様

ご優待内容： 当社の貸衣装ご利用および
ドレス&メンズフォーマルお買上げご優待券の
発行(2,000円券 10枚~80枚)
当社スタジオでの写真撮影と
写真無料サービス券の発行(一律 2枚)
当社旅行カウンター取扱いの海外パッケージ旅行
割引券の発行(4~6%割引券 一律 10枚)

* 上記の取扱店舗は、株主ご優待券にてご確認ください。

ご利用期間：毎年7月1日から翌年6月30日まで
(翌年の6月30日以降のご利用の場合でも、有効期限
の6月30日までに、上記の各種ご優待券をご提示のう
え、ご予約いただきますと上記のご優待をご利用
いただけます。)

《中間事業報告書の内容に関するお問い合わせ先》

ワタベウェディング株式会社 TEL 075-352-4111(代表)
株式課 FAX 075-352-4139

(表紙メッセージ)

今年創業50周年を迎える当社グループは、50年という歳月の中で、たくさんの幸せな笑顔を見つめてきました。心からの笑顔で迎えたその日が、輝かしい思い出となって永遠に胸に残るウェディング。多くの幸福な笑顔に立ち会ってきた「経験」と、長い歳月を経て築くことができた「信頼」こそが私たちの財産です。善意から生まれた創業の原点を忘れることなく、私たちはこれまでと変わらぬ誇りと心からの祝福を持って、おふたりの最高のウェディングをお手伝いします。



株主メモ

決算期	毎年3月31日(年1回)
定時株主総会	毎年6月中
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第二部 大阪証券取引所市場第二部
1単元の株式の数	100株
名義書換代理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番3号 UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 (お問い合わせ先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 UFJ信託銀行株式会社 大阪支店証券代行部 TEL(06)6229-3011
同取次所	UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、次のUFJ信託銀行のフリーダイヤル
およびインターネットでも24時間承っております。

受付フリーダイヤル 0120-24-4479(本店証券代行部)

0120-68-4479(大阪支店証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.ufjtrustbank.co.jp/>



WATABE
WEDDING

ワタベウェディング株式会社

本社 〒600-8540 京都市下京区烏丸通仏光寺上る二帖半敷町671番地

TEL(075)352-4111(代) FAX(075)352-4139

<http://www.watabe-wedding.co.jp>